

吉野町では、「新しい人の流れをつくる」という目標のもと、吉野町での生活を体験したい方のために短期滞在型移住体験の運営を行い、また、吉野町の地域活性化および地域課題解決のために活動して下さる方々と町との継続した関係を構築しています。

このプロジェクトは「TENJIKU吉野」という名称で令和2年7月より取り組んでおり、令和4年度も多くの方が吉野町を訪れ、地域のお手伝い(SAGOJO ミッション)を通じて地域の方々と交流し、関係を深めています。今回、その活動の一部を紹介します。

**関係人口創出事業**  
てんじく  
**「TENJIKU吉野」**

**01 SAGOJO ミッション 松原さん(大阪在住)**



地域イベントのお手伝い。お菓子のふくろ詰め作業です。



作業の合間にスタッフと歓談

この日はこども食堂のお手伝い。ひたすらおにぎりを握ります。



こども食堂終了後に記念撮影。みなさん良い顔してます。



**02 SAGOJO ミッション 福田さん・美濃さん(東京在住)**



吉野絆ファームさん(山口)で農作物の収穫作業のお手伝い



休憩中の1シーン。お茶がおいしい。

何度も訪れていたことがきっかけで、吉野絆ファームさんから福田さんに看板制作の依頼が。



素敵な看板が完成。みんなで記念写真。



吉野町関係案内人  
菊地 奈々さん

私はTENJIKU吉野を利用して吉野町を訪れる方(通称:旅人)と地域とのつなぎ役を担っています。旅人を受け入れたい、来てほしいという事業所様、団体様はお気軽にお問い合わせください。まずは制度のご説明に伺います。

都市部から吉野町を応援してくれる方、地域と関わりを持ちたいという方が数多くいます。このような方々を関係人口と呼んでいます。観光ではなく地域の方々と深く交流することで、吉野町の魅力をより深く感じ、吉野町での生活にも興味を持ってくれるというケースもあります。

吉野町地域受入協議会「住んでよしのナビ」は、そのような吉野町に移住または二地域居住等を希望する方に情報を発信するとともに、行政、空き家コンシェルジュ等と情報共有を行い、移住定住の促進及び空き家の活用に向けて取り組むことを目的に活動しています。住んでよしのナビは、令和3年度に設立し、現在、活動3年目を迎えます。

**吉野町地域  
受入協議会**

**「住んでよしのナビ」  
活動中**

**令和4年度の主な活動**

- \*相談体制の検討
- \*移住&DIY講座の開催
- \*移住交流ツアーの実施
- \*移住情報サイト「住んでよしのナビ」の開設
- \*先進地視察

**令和5年度の主な活動(予定)**

- \*相談体制の構築
- \*お試しワーキングホリデーの実施
- \*空き家情報の収集と利活用推進
- \*移住&DIY講座の開催
- \*移住交流ツアーの実施
- \*「住んでよしのナビ」による情報発信

住んでよしのナビ メンバー	
代表	南 達人
副代表	澤木 久美子
会計	菊地 奈々
監事	吉村 寿代
	山本 茂伸
	吉村 耕治
	橋田 繁文
	石井 香理



**住んでよしのナビが様々な「つなぎ」の役割を果たします。**

住んでよしのナビでは、吉野町に興味や関心のある方と地域や関係者とをつなぐ役割を果たすため、以下のような相談体制を構築するとともに、吉野町の情報発信を行います。

